

東北風景写真家協会会員向け会報「東風季報」第49号です。当会報は会の行事、活動計画、各種のお知らせ、撮影適所、撮影情報、撮影テクニックなどの記事を掲載しております。



発行
東北風景写真家協会
〒983-0852 仙台市宮城野区榴岡4-1-8
パルシティア仙台1階F号
東北カラーデューブ株式会社榴岡店内
Tel 022-256-2141, Fax 022-256-2142
編集 進藤・阿部

萩原俊哉先生スライド&トークセミナー開催

2019年第2回スライド&トークセミナーを次の通り開催いたします。多くの皆様のご参加をお待ちしております。

講師 萩原 俊哉 先生
タイトル 「〇×でわかる風景撮影のキモ」

1 「作品を引き立たせるかんたんRAW現像テクニック」

(1) 日時…令和元年10月1日(火)

開場…午後0時30分 終了予定…午後3時15分

(2) 開始…午後1時00分

場所…日立システムズホール仙台 3階 エングホール

(3) 参加費…お一人様 会員 1000円 非会員 1500円 (入会者は会員扱い)

萩原 俊哉(はぎはら・としや)先生プロフィール
1964年山梨県甲府市生まれ。広告代理店に在社、食品関連の広告制作に所属、カタログ制作、イベント企画等に携わる。退社後、フリーのカメラマンに転向。現在自然風景を中心に撮影、写真雑誌等に執筆活動中。著書に「ニコニコD800&D800E フロはこう使う」(ニコンカレッジ監修・インプレスジャパン)など多数。日本風景写真家協会(JSPA)会員(ホームページあり)



○ 田麦侯・タニシの楽校映像DVD上映…15時15分〜15時40分 (南会員からの依頼)
終了後ライオン一番町店にて懇親会(17時00分〜19時00分 会費4000円)
詳細は同封の書面にてご確認の上、出欠確認はがきを9月14日必着でご返送下さい

2020年第7回写真作品展 「美しい日本」の開催について

東北風景写真家協会創立14周年第7回写真作品展「美しい日本」の開催日程が決定いたしました

(1) 開催日程…2020年7月3日(金)〜8日(水)

(2) 会場…せんだいメディアテーク 5階ギャラリーb1, b2

会員皆様のご意見、ご希望をお聞きしながら準備作業を進めたいと思っております。ご意見のある方は近隣の幹事にその旨をお伝え下さい。

会員宛案内書と参加申込書は12月1日発行の「東風季報」に同封予定です。会員の皆様には、日頃撮影されました力作のご準備をお願いいたします。

第14回総会およびセミナー開催

セミナー開催

第14回総会およびセミナーを次の通り開催いたします。詳細につきましては次号にてお知らせいたします。

日時…令和2年1月26日(日)

午後0時〜午後6時00分

場所…日立システムズホール3階 エングホール

セミナー講師 「風景写真」誌編集長 石川薫氏

総会・セミナー終了後は、石川講師を交えて、懇親会を予定しております。

お知らせ

当協会の役員に異動がありました。本年6月末をもって、幹事長の丸山慎一氏は、都合により、幹事長を辞任され当協会を退会されました。次期総会終了までの間、幹事長代行に副会長の進藤弘融氏が兼務で就任いたしました。

秋の信州撮影ツアー

東北風景写真家協会協賛で秋の信州撮影ツアーを実施いたします。

撮影のポイント

(各ポイントとも時間を取って、ゆっくり撮影できます)

- ・白駒の池：紅葉と雄大な苔の森風景
- ・御射鹿池(みしゃかいけ)：静寂な湖上に映える紅葉の幻想的風景
- ・志賀高原：変化に富んだ湖川と白樺の紅葉風景
- ・雷 滝：裏見の滝越に映える紅葉の絶景

日程：令和元年10月23日(水)〜10月25日(金) 2泊3日

- ・旅行代金：56,000円、
- ・利用バス会社：仙台泉観光バス
- ・お問い合わせ・お申し込みは

河北新報トラベル まで

TEL：022-211-6960 FAX：022-723-4672

詳細については、同封の「秋の信州撮影ツアー」のチラシをご覧のうえ多くの皆様のご参加をお待ちしております。



夕日に映える御射鹿池



雷 滝

「仙台クラシックフェスティバル」写真展開催のお知らせ

開催のお知らせ

昨年9月末に開催された「せんくら2018」でボランティア写真愛好家23名が撮影した作品を、展示しております。作品は日立システムズホール仙台他で、出演された演奏者や会場の様子、ボランティアとして参加している受付や会場案内の方達、館内外の様子等を撮影したものです。当協会からは、高瀬会員、寺島会員、進藤会員が参加して撮影手伝いをしております。作品は今年度の「せんくら2019」開催期間中展示されます。

機会が取れましたら、会員の皆様にも是非御覧頂けたらと思います。

展示場所…日立システムズホール仙台1階
展示期間…令和元年8月19日(月)〜10月6日(日) (進藤)

お知らせ

- ★写真コンテスト上位入賞者
・今回は情報の手がかりません
- ★新規入会者紹介
・安藤 フキ子 (仙台市太白区 平間 博)

- ★ご連絡下さい
写真コンテスト及び公募展に入賞または入選された方、写真誌に掲載された方、また、個人やグループで写真展を開催される方もご連絡下さい。(敬称略)

お願い

- ★令和元年度年会費のご案内
ご入金のお願

当協会の各種企画事業や東風季報・総会資料の印刷作成、郵送料等は皆様の年会費にて運営しております。

- ・年会費(3,000円)未納の方は、左記いずれかの口座宛振込下さい。振込料は負担をお願いします。
- 七十七銀行旭ヶ丘支店 普通 5272599
- 東北風景写真家協会 ゆうちょ銀行 18190
- 14388881
- トウホクフウケイ
- シヤシヤカキウカイ

- お問い合わせ先
会計担当 孫田幹苑
090-12360-1
2973

ミラーレスカメラとの出会い

笹原 弘

ある日突然、「キヤノン」からのメールが私宛に、「あなたが登録している「EOS・40D・DIGITAL」はメンテナンスが終了しました。この機会に「EOS・M6」を市価より安価販売しますという口車に乗って、早速購入することにしました。

数日後キヤノンより「EOS・M6」が到着、「EOS・M6」これがミラーレスカメラとの出会いです。

当時主として使用していた、「EOS・6D（フルサイズ）と比べて極めて軽量で私（高齢者）には最適なカメラです。

▼フィルムカメラからデジタルカメラに変え、最初に購入したカメラは「EOS・40D」でした。約20年前のある撮影の講習会でカメラ・三脚は重いほうが安定している写真が撮れます。重いカメラ、三脚を持って撮影に行けなくなったら撮影は止めたほうがいいと言われ、当時は比較的重いカメラ・レンズをして、安定感のある三脚を買いました。重いリュックにカメラ、レンズ等を入れ撮影会に参加しました。

しかし、年を重ねた今、重いリュックを背に、撮影会に参加する

とが大義になり、M6・ミラーレスカメラはレンズ（18-150mm）を装着しても740gと非常に軽く、便利で気軽に撮影会に参加することができました。

2023ヶ月の間にEFLレンズの装着を可能にする「マウントアダプター」と「電子ファインダー」を購入し、今まで使っていたレンズも簡単に装着でき、更に便利に活用しています。

▼私は初めからキヤノン製品を愛用してました。数か月の間に高性能の良い、EOS・R更にフルサイズのEOS・RPを開発販売されていますが、私にはとても高くても手届かない製品です。

これらのカメラはミラーレスカメラに替わっていろいろのオプションが豊富です。

年を重ね、運動量も減りました。軽いカメラ・三脚も必要ない。手軽なカメラでも撮影会に参加

平成30年6月、鳥海山撮影旅行に出かけました。6月2日快晴の朝9時、仙台出発。鳴子・鬼首・横堀と108号線で秋田県法体の滝を目指し、途中鳥海町清水の里で情報収集、法体の滝を目指します。

6-7月の間に一日二日三陸の浄土ヶ浜・北山崎・三王岩また飯豊のどんでん平ゆり園の撮影会に参加し、猛暑の中二台のカメラで大変な撮影会でした。

▼カメラを趣味として健康で、二十年間東北六県をはじめ各地の撮影場所に行きました。今後出来るだけ皆さんと一緒に撮影会に同行するにはミラーレスカメラ一台で三脚も持たずに気軽に参加したいと思っています。

頃着標高1160mからの日本海俯瞰夕日を期待し撮影準備に入ります。駐車場の真上に雪渓が300m位あり雪渓を登る、色々な角度で撮影し、上からの撮影角度は駐車場が視角に入り、ポイントを確認出来る駐車場まで下山、駐車場からの撮影としました。

夕日は今まで経験したことがないほど荘厳な落日に出会うことが出来た。田植後の象潟の風景と風力発電の風車を点景に20時近くまで夢中でした。日本海に飛鳥も夕日の海に浮かんでお

鳴らしながら。途中山菜採りのお爺さんお婆さんに会うが熊を気にしておたら山菜は探ることが出来ないとのことだった（納得）。

6時頃湿原到着、既に10人ぐらゐの先客あり、これは出遅れと実感。朝霧もなく鳥海山はくつきりと快晴の中に姿を誇示しておりました。見事な滝に向かう前に胸腹の滝、二の滝を目指す。次に山形県遊佐町の一の滝、三の滝を目指す。

のところが少なく、冬原野際湿原、花立で仕入れた情報や色々な沼の撮影を試みたが、さざ波が多く断念。元滝を撮影し象潟町の蚌満寺（象潟）に西施が合歓の花、芭蕉、九十九島周辺を撮影。

最後に酒田市松山町の眺海の森に向かう、昨日の夕日の再現を願って到着（17時20時）。

願っても空しく望んでいた夕日は程遠く、田植後の庄内平野を堪能し次の機会に望みを託し一路仙台に。

因みに車の走行距離800kmでした。以上。

お詫びと訂正
前号第48号2面の記事に間違いがありました。お詫びして訂正させていただきます。

「現場写真の失敗」
【誤】及川 剛
【正】及川 剛司
編集担当 阿部和之

風景写真とデジタル写真の表現力

竹内 正

デジタル写真が全盛になって久しくなり、フィルム写真を知らない人が多くなってしまいました。多くのソフトウエアが開発してカメラに搭載したり、後処理ソフトによりパソコンで処理できるようにしております。

最近では使用面でも、大幅に進歩して使い易くなってきました。

話が難しくなりましたが、次回からはデジタルカメラによる風景写真の上手な撮影法、ソフトの活用方法、美しいプリントの簡単な作成法、注目されているミラーレスカメラ等、最近の話題も含めて連載します。

風景写真に関する、デジタル写真、フィルム写真、カメラ、プリント等の疑問、ご意見がありましたら、投稿お願い致します。

風景写真の世界でも同様な現象が起きています。「フィルム・アナログ」の調子は豊富なグラデーション・色の深味等、風景写真には欠かせない要素を満たしていますが、デジタル写真の場合はダイナミックレンジが狭く豊かな調子を表現することが困難場合があります。

このことは容量の差に起因しています。フィルムはデジタルの数倍の容量が有ると言われています。

この差を埋めてフィルム写真に近付けるために、デジタル写真では数多くのソフトウエアを開発してカメラに搭載したり、後処理ソフトによりパソコンで処理できるようにしております。

最近では使用面でも、大幅に進歩して使い易くなってきました。

話が難しくなりましたが、次回からはデジタルカメラによる風景写真の上手な撮影法、ソフトの活用方法、美しいプリントの簡単な作成法、注目されているミラーレスカメラ等、最近の話題も含めて連載します。

風景写真に関する、デジタル写真、フィルム写真、カメラ、プリント等の疑問、ご意見がありましたら、投稿お願い致します。



EOS・M6 どんでん平ゆり園

色とスキーヤーを撮影したが迫力に欠け花立まで山を下りる。
（実力不足を痛感）
花立の観光案内所（16時）で近辺の風景や桑ノ木台湿原のレンゲツツジの写真を見て頂く。案内所の方に現在の状況を確認し、昨日あたりから咲き始めたらしき今日明日が最高ではとのことでした。

因みにここ花立から朝9時からシャトルバスが出ているとのことでした。明日に期待し鳥海山麓の高原の撮影に出発。鳥海山峠立（17時30分

り、私にとって最高の時間を過ごすことができました。
ここで象潟まで下山し道の駅で車中泊、準備した夜食・飲食で一泊。
6月3日午前4時起床、花立迄向かう。桑ノ木台湿原駐車場に5時到着（車は湿原入口で駐車）。湿原まで3kmの標識あり、30分位で到着の予定で速足徒歩出発、山道の3kmの不確かなこと、（山道はほぼ平坦、多分直線距離かなと解釈）湿原に到着（道々熊との遭遇を恐れ熊避けの鈴を

湿原の広さは周囲1kmぐらゐかな？
ここで不思議な出会いがありました。昨日峠立の雪渓を登っているときに挨拶を交わした若い人と出会った。彼は長野県の方とか、海に面した独立峰でこんな素晴らしい山は鳥海が最高ですと、毎年訪れているので、ここから湿原を後にしたが、戻りの時間も行きとほぼ同じでした。

花立に戻り（8時頃）鳥海高原・仁賀保高原をドライブしながら撮影ポイントを探すが自分好み・開運出世の滝・不動

る向かう。滝の飛沫がすく結構素晴らしい撮影ポイントだったと思いました。（太陽の位置を確認し撮影すると良い写真が取れる？）三の滝は道が険しく、又熊が恐ろしく断念。
その後、酒田市八幡町升田の玉簾の滝（14時着）に向かう。丁度、玉簾の滝壺を太陽が照らし、滝壺の中は七色の虹が飛沫に彷徨い、竜が舞っている様でした。1時間ほど撮影し、途中の御岳神社・開運出世の滝・不動



レンゲツツジと残雪の鳥海山 荘厳な落日

編集後記

一面の記事は秋原俊哉先生のセミナー開催と第7回写真作品展「美しい日本」開催、「秋の信州撮影ツアー」等を掲載いたしました。

2面の記事は、笹原弘さんと岡部晃次さんにもご寄稿頂いております。竹内会長は今回より連載していただきます。

この季報は皆様の投稿で作られています。撮影ポイントのご紹介や撮影のテクニックなど、皆様の投稿をお待ちしております。